

2 法適用企業の経営状況

(1) 損益収支

平成30年度の経常収益（営業収益＋営業外収益）は1,007億10百万円、経常費用（営業費用＋営業外費用）は937億95百万円となっており、経常収支比率（経常費用に対する経常収益の割合）は107.4%と収支均衡点である100.0を7.4ポイント上回っている。前年度に比べ0.4ポイント増となっている。

また、平成30年度の経常収支において経常損益が黒字であった事業は、69事業のうち58事業、80億47百万円（前年度72億45百万円）となっており、一方、経常損益が赤字であった事業は11事業、11億32百万円（前年度7億73百万円）となっている。なお、建設中事業が1事業ある。

経常損失の状況を事業別にみると、水道事業が42事業中3事業で48百万円の経常損失を生じたのを始め、病院事業は8事業中6事業で10億44百万円、工業用水道事業は9事業中2事業で40百万円となっている。

(2) 累積欠損金

営業活動による各事業年度の損失（赤字）額が累積された累積欠損金は、平成30年度末において80億46百万円で、平成29年度末の78億29百万円に比べ、2億17百万円増となっている。

累積欠損金を有する事業は9事業となっており、事業別にみると、病院事業が8事業中5事業で70億42百万円と最も多くなっている。また、前年度との比較でみると、水道事業で2億3百万円減、工業用水道事業で4百万円減、病院事業で4億24百万円増となっている。

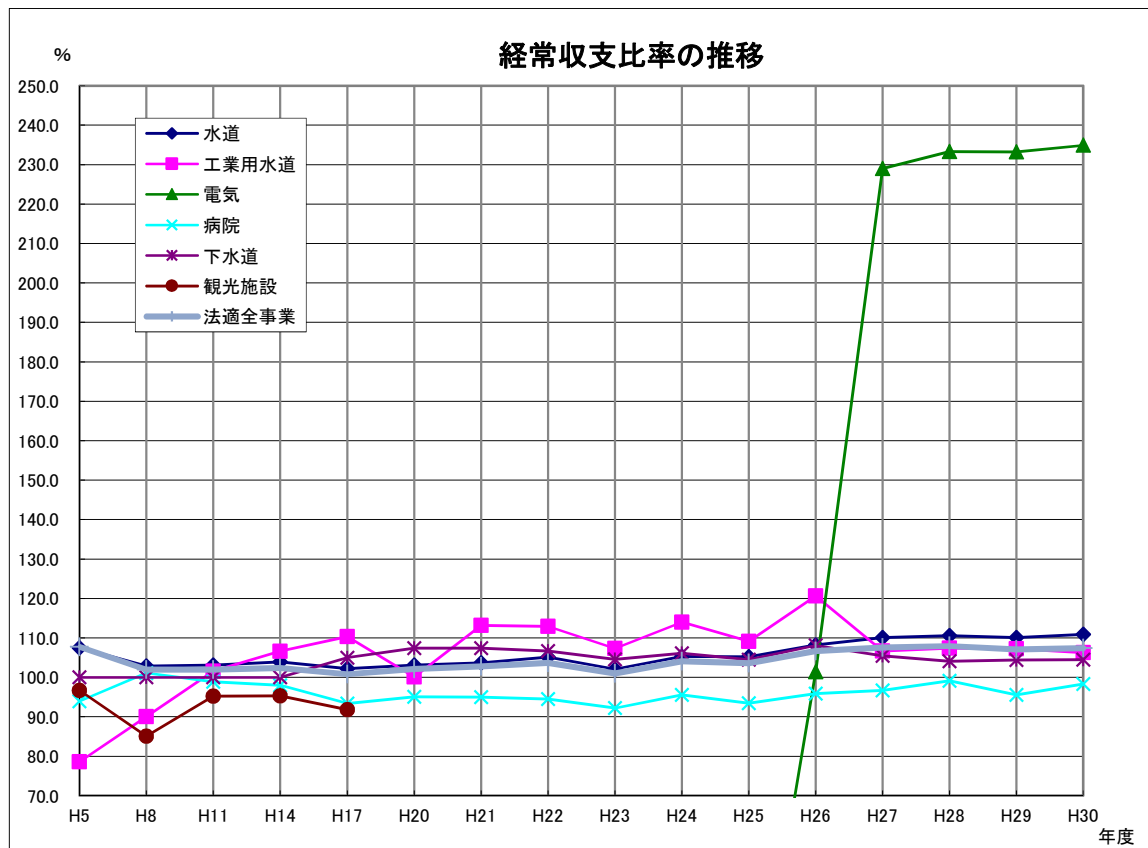
(3) 不良債務

流動負債の額が流動資産の額を超える額である不良債務を有する事業は、平成30年度末において0事業となっている。

法適用企業の事業別決算状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
総収益 (A)	65,597	689	100	9,804	24,613	100,803
経常収益 (B)	65,570	689	100	9,748	24,603	100,710
営業収益	58,366	568	100	7,315	11,809	78,158
総費用 (C)	59,201	648	43	10,505	23,573	93,970
経常費用 (D)	59,107	648	43	10,447	23,550	93,795
経常損益	6,463	41	57	△ 698	1,053	6,916
経常利益	6,511	81	57	345	1,053	8,047
経常損失 (△)	48	40	0	1,044	0	1,132
純損益 ((A) - (C))	6,396	41	57	△ 702	1,040	6,832
累積欠損金	156	848	0	7,042	0	8,046
不良債務	0	0	0	0	0	0
事業数	42	9	1	8	9	69
うち建設中	0	1	0	0	0	1
経常損失を生じた事業数	3	2	0	6	0	11
累積欠損金を有する事業数	2	2	0	5	0	9
不良債務を有する事業数	0	0	0	0	0	0
経常収支比率(B)/(D) (%)	110.9	106.3	232.6	93.3	104.5	107.4
総収支比率(A)/(C) (%)	110.8	106.3	232.6	93.3	104.4	107.3



(4) 資本的収支

平成30年度における資本的支出は667億16百万円で、前年度の607億60百万円に比べて59億56百万円増加している。この内訳は建設改良費が415億59百万円で、前年度の375億87百万円に比べ39億72百万円増加しており、企業債償還金が249億58百万円で前年度の230億52百万円に比べ19億6百万円増加している。

これに対する財源は、企業債が226億88百万円、他会計繰入金が74億41百万円、国県補助金が40億98百万円となっている。

資本的支出に対する財源不足額が314億56百万円生じているが、補てん財源も同額であるため、補てん財源不足は生じていない。また、補てん財源のうち過年度分損益勘定留保資金が44.4%を占めている。

次に企業債元利償還金の状況をみると、平成30年度の企業債元利償還金は311億4百万円で、前年度の292億43百万円に比べ18億61百万円増加している。

料金収入に対する企業債元利償還金の割合は42.9%で前年度の40.6%に比べ2.3ポイント増加している。これを事業別にみると、下水道事業が142.3%で最も高い割合を示しており、続いて電気事業53.0%、工業用水道事業41.2%となっている。

法適用企業の事業別資本収支の状況

(単位:百万円)

項目	事業					
	水道	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
資本的支出	36,027	212	51	9,340	21,086	66,716
うち建設改良費	23,815	30	0	8,979	8,735	41,559
うち企業債償還金	12,186	182	51	351	12,188	24,958
資本的収入	14,227	113	0	9,145	11,807	35,292
うち企業債	10,932	11	0	6,284	5,461	22,688
うち他会計繰入金	1,567	102	0	2,731	3,040	7,440
うち国県補助金	1,036	0	0	108	2,954	4,098
財源不足額	21,800	99	51	227	9,279	31,456
補てん財源	21,800	99	51	227	9,279	31,456
補てん財源不足額	0	0	0	0	0	0

料金収入に対する企業債元利償還金

(単位:百万円)

事業	項目	料金収入 (A)	企業債 元利償還金 (B)	企業債償還金		料金中償還金 (B)/(A) (%)
				(C)	(D)	
水道		55,422	15,237	12,186	3,051	27.5
工業用水道		527	217	182	35	41.2
電気		100	53	51	2	53.0
病院		5,760	455	351	104	7.9
下水道		10,638	15,142	12,188	2,954	142.3
合計		72,447	31,104	24,958	6,146	42.9

料金収入に対する企業債元利償還金の割合

